

【参考資料 A-3】

機関コードについて GRSciColl (旧 GRBio) でのチェックと登録のお願い

2025.6

国立科学博物館 神保 宇嗣

S-Net/GBIF 事業にいつもご協力ありがとうございます。このたびは、機関コードにつきまして注意を喚起させていただきたく、お知らせさせていただきます。

データを出していただく際には、機関コード (旧: 機関略号) とコレクションコード (旧: 標本コード) を決めていただいております。特に、重要なのは機関コードです。機関コードは、GBIF をはじめとした世界規模のデータベースで、世界の様々な博物館・大学等をはじめとする標本保存機関を区別する役割をもっています。そのため、機関コードは世界レベルで重複していないことが理想です。そのため、機関コードを新たに決める際には、他の機関と重複しないよう、世界の標本保存機関がどのような機関コードを持っているかを知ることが必要です。また、現在使われている機関コードが、他の機関と重複していないかどうかを知ることが重要です。

以前は、機関コードを重複しないように登録する仕組みは不十分でした。植物・菌類の主要な標本保存機関については、すでに Index Herbariorum (IH) という目録が整備されており、全世界の約 3,000 の機関が登録され、重複しないように略号が付されています。しかし、IH に登録されていない植物・菌類の標本保存機関、および動物の標本保存機関の目録は存在せず、また、膨大な機関の情報を世界的にとりまとめるような活動もありませんでした。

現在、GBIF では、全世界の自然史標本の所蔵機関とそのコレクションの情報集積を行うデータベース、GRSciColl (Global Registry of Scientific Collection) を運営しています (<https://scientific-collections.gbif.org/>)。これは、2013 年に公開された生物コレクションの登録システム GRBio (The Global Registry of Biorepositories) に端を発したものです。現在までに、IH で扱われている標本庫も含めて、8,000 以上の機関が登録されています。(IH で登録・更新された情報は、自動的に GRSciColl に反映されます)。

GRSciColl への登録は、今後さらに重要になってきます。現在、GBIF へ標本のオカレンスデータを登録する際にも、その所蔵機関やコレクション情報を GRSciColl へ登録することが前提になりつつあります。

そこで、S-Net では、GRSciColl に、各機関の情報と、これまで S-Net、GBIF へのデータ提供の際に使用していただいた機関コードを含む機関の情報を (可能であればコレクションの情報も) 登録していただきたいと考えております。つきましては、以下のようにご確認と、必要に応じて新規の登録をお願いいたします。

【参考資料 A-3】

世界の自然史標本コレクション統合ポータル GRSciColl (旧 GRBio) への登録について

GRSciColl (Global Registry of Scientific Collections ; <https://scientific-collections.gbif.org/>)

は、世界の自然史コレクションについての情報集積センターです。

- ▶ 機関コード、コレクションコードの情報を登録・検索できます。
- ▶ 2025年5月23日現在、世界の自然史関連の約8,766機関の情報が登録されています。

<https://scientific-collections.gbif.org/institution/search>

S-Net/GBIF で使っている機関コード (旧 : 機関略号) は、自動では GRSciColl には登録されません。機関コードに重なりが無いうちに (他機関に登録されないうちに) 登録していただくことをお勧めします (GRSciColl は Index Herbariorum の機関コードを取り込んでいるため、Index Herbariorum と同じ機関コードをお使いの機関は、すでに GRSciColl に登録されている場合があります)。

◎ 自館の機関コードが登録されているかどうかを確認する方法 (別紙)

<https://scientific-collections.gbif.org/institution/search> のページで、自館の機関コードを入力して、ヒットするかどうかを確認します。

◎ 自館の機関コードを登録する方法

<https://scientific-collections.gbif.org/institution/search> のページ上にある「How-to」のプルダウンメニューより「Add entries」ボタンをクリックし、自館のデータをご登録ください。難しい場合には、国立科学博物館 S-Net/GBIF 担当までお問合せください。

ご連絡先 :

国立科学博物館 S-Net/GBIF 担当

[s-net_info\(at\)kahaku.go.jp](mailto:s-net_info(at)kahaku.go.jp)

TEL : 029-853-8277 / 8278

神保・太田・柿添・江守

※(at)こちらを@に変更してください

機関コードの登録の有無を確認する方法

<https://scientific-collections.gbif.org/institution/search>

GRSciColl

Institutions

Text search Code Country or area Number of specimens Specimens in GBIF

8,766 institutions Download as TSV

Smithsonian Institution, National Museum of Natural History
 USNM and NMNH both refer to the National Museum of Natural History. Collections are managed by one or the other acronym. US, the US National Herbarium, is a collection within the National Museum of Natural History.
 United States of America Institution code: USNM
 11 collections 100,000,000 records 6,007,298 in GBIF

Natural History Museum, London
 The Natural History Museum, formerly British Museum (Natural History), is a British natural science museum that has national and international responsibilities for taxonomic and associated research based on the collection.
 United Kingdom Institution code: NHMUK
 1 collection 80,000,000 records 5,688,956 in GBIF

5,074 results with coordinates

Institutionsを選択

【Code】に機関コードを入れる(例:TNS)

GRSciColl

Institutions

Text search Code: TNS Country or area Number of specimens Specimens in GBIF more

1 institution Download

National Museum of Nature and Science
 Updated Feb 2012. Formerly National Science Museum, Tokyo. All plant groups worldwide; vascular plants mainly Japan.
 Japan Institution code: TNS
 4 collections 1,636,000 records 922,734 in GBIF

1 result with coordinates

金沢市 長野市 日本 東京 横浜市 名古屋市 京都市 大阪市

TNSの検索結果が表示される